

質問した事項

- わたなべ よしみつ
1 渡辺 義光 議員……P 4
・野駝館公園の管理・運営と活用について
・岩手山の魅力発信と登山活動について
- せき ひろと
2 関 治人 議員……P 5
・八幡平エリア環境整備について
・スポーツ振興について
- いのうえ たつお
3 井上 辰男 議員……P 6
・防災行政無線の音声について
・小学校の英語教育について
・街路灯のLED化について
- たちばな やすふみ
4 立花 安文 議員……P 6
・市職員の残業時間規制および有給休暇取得について
・岩手県子どもの生活実態調査結果および子どもの未来を応援する取り組みについて
・キャッシュレス決済普及などについて
- はざわ ひさたか
5 羽沢 寿隆 議員……P 7
・八幡平市として新たな財源確保のための広告活用について
・観光資源の活用状況について
- かつまた やすまさ
6 勝又 安正 議員……P 8
・稲作農業の構造と振興について
・農業の啓発活動について
・桜松神社の由来案内板について
- たかはし えつろう
7 高橋 悦郎 議員……P 8
・八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
・西根総合支所の有効活用について
・大更駅周辺開発について
- まいた さだお
8 米田 定男 議員……P 9
・空き家対策について
・高齢者の交通確保対策について
- くまざわ ひろし
9 熊澤 博 議員……P 10
・平館地区のにぎわい創出について
・葉たばこ生産の振興について
- きたぐち いさお
10 北口 功 議員……P 10
・芸術文化振興について、今後の取り組みと計画について
・フレイル予防の推進について
・バイオマストイレについて



わたなべ よしみつ
渡辺 義光 議員
(市民クラブ)

野駝館公園の管理と活用 建物・案内看板修繕必要



武家屋敷風の殿堂（館公園頂上）

問 松尾村村制百周年校の郷づくり事業として整備された館公園は武家屋敷風の建物、冠木門、街路灯63基を備えた市民憩いの場である。近年、利用者が減少し施設も損傷が著しい。市民がいつでも気軽に利用できるような管理と運営を望む。

市長 5月に八幡平DMOが手しごと市を開催し500人の来客があった。建物や案内板は整備されてから25年経過し修繕が必要である。行路案内標識設置についても検討したい。館公葬地周辺の清掃についてはチラシを配布し周知した。

八幡平DMO戦略
問 館公園周辺には市内最大の岩鷲山供養碑（伊那々伊沢神社）や蝗虫退散供養塔など貴重な文化財が散在する。地域の歴史や文化財、人材などの宝資源をどうマネジメントする考えか。

市長 今までの成果や課題を検証し、改めて地元の皆さんの企画やアイデアを取り入れて活用を進める。

岩手山の魅力発信
問 市内には岩手山に関する伝説、芸能、民俗、巨岩歌碑など県内でも希有な資源が多数存在する。総合的な紹介をしようか。

市長 文化、民俗のガイド養成講座を実施するなど関係団体と連携し散策ガイドを通じて魅力を発信する。教育長 登山は貴重な自然体験である。社会科副読本にも市内の名山を紹介する。



せき ひろと
関 治人 議員
(八起会)

八幡平エリアの環境整備 現状確認し方針を整理



立ち木で見えない芭蕉沼

問 観光人口拡大や松尾地区活性化のための八幡平エリア環境整備について伺う。
市長 国有地であり難しい場所ではあるが、関係者と現状確認しながら、今後の方針を整理していきたい。

問 2年後の新設ローラーコースに伴い、スキー場開発計画および中学校跡地活用計画を伺う。
市長 用地取得に伴う開発計画を推進し、射撃場エリアを優先的に行う。中学校跡地については、地域性を考慮し進めていく。

問 地域の意見を開発計画に取り入れてほしい。
市長 地元の意見を尊重していきたい。

スポーツ振興計画
問 市スポーツ振興計画の策定について伺う。
市長 県や他の市町村の計画を参考に、早期に作成していく。

施設の活用計画
問 市内各スポーツ施設の活用と大会、合宿誘致計画を伺う。
市長 県および関係団体と協議し、施設を有効活用しながら誘致活動を進めていく。



井上辰男 議員 (八起会)

防災行政無線の音量調整

調整図りの確かな情報伝達



「上の山」屋外拡声子局

問 防災行政無線がデジタル化されたが、音声が良い聞こえないという声がある。覆域調査で問題はなかったのか何う。

市長 音声为重なる屋外拡声子局は統合し、伝わりにくい箇所は新設するなど、音声の伝わる範囲を考慮し

て屋外拡声子局を配置した。問 デジタル化後に、移動した子局数と理由を何う。

市長 音量調整を講じてきたが、今後も機器の調整を図り、適時、的確な情報伝達に努める。

問 英語教育の教科化に向けた取り組み状況、課題、確認すべきことは何か何う。

問 イングリッシュキャンプを小学生にも拡大する予定はあるのか。

市長 移動した屋外拡声子局は42局、移動理由は民有地から公共用地に移動したものの21基、音響範囲を考慮したもの5基、用地が狭隘のため移動したもの16基。

教育長 A・L・T 4名のサポートを受け指導しているがA・L・T任せの授業が散見される。今後は担任教師の指導力向上を図り、前向きに取り組む姿勢を確認する。

教育長 小学生対象も必要と認識している。そこで英語への興味や関心が高まり、学校や日常生活での英語への意欲につながるよう、活動内容などを検討する。



立花安文 議員 (八起会)

キャッシュレス決済普及

なかなか進んでいない



キャッシュレス決済説明会

問 キャッシュレス決済の普及計画および数値目標を何う。

市長 事業者の取り組みはなかなか進んでいない。数値目標は定めていない。

問 外国人の医療費の未払い対策として、厚労省はキャッシュレス決済を進め

ている。西根病院のキャッシュレス決済導入を何う。

西根病院事務局長 今現在は、導入する計画はない。

問 1年間に経済的な理由で、子どもに服や靴を買っ

てあげることができなかった世帯の割合を何う。

市長 9・4%である。この他に、医療機関に受診させることができなかった割合が5・8%、誕生日プレゼントやお年玉をあげるこ

とができなかった割合が9・6%であった。

問 貧困対策事業の考えを何う。

市長 貧困状態にある子どもを見逃さない仕組みづくりを進めたい。

問 昨年、有給休暇取得日

数が年5日に満たない職員の人数を何う。

市長 27人いる。

問 超過勤務は改善されているが、有給休暇の取得が改善されていない。総務課長 0日という職員が2人いる。全員が取得できるように周知する。



羽沢寿隆 議員 (八起会)

広告による財源確保

新たな収入として取組中



バイパス松川交差点イメージ写真

問 最近よく自治体における封書や出版物などに、一般企業の有料広告が載っている。財源が先細りになっていく中、新たな収入財源として取り組む考えはないか。

市長 八幡平市行政改革方針実施計画に基づいて広報誌、市HPへの広告、ネーミングライツなどの可能性について取り組んでいる。

問 自治体が一般広告を取り扱うことへの問題点や、それに対しての市民の理解は得られると思うか。

市長 八幡平市有料広告取扱要綱を定めており、コン

プライアンスを順守していくことで市民の理解は充分得られると思う。

問 市内には多くの観光客が訪れているが、目立つ場所に案内板などがない。新

しい観光案内板を設置すべき

市長 今でも多くの案内板は設置してあるが、環境省など関係機関と連携を図り、検討していく。

問 市内各地にある湧水の活用PRは

市内各地にある湧水の活用PRは

市内各地にある湧水の活用PRは



かつまたやすまさ
勝又安正 議員
(八起会)

市産米の宣伝販売戦略 リーフレットなどで支援



荒屋地区の田園風景

問 田園回帰の機運が本格化しているが、現在どのような受け入れ態勢を講じているか伺う。

市長 市単独事業と国の事業と併せて、支援を引き続き行う。

問 八幡平市産いわてっこの宣伝販売戦略を行っている

く上でのリーフレットなどの支援はないか伺う。
市長 関係機関と安定的かつ長期的に取引できる関係を構築し、リーフレットなどの作成支援も検討する。

援を強化していく考えはないか伺う。
市長 機械や設備への助成を行い、今後同様に継続支援していく。法人化することによりさらなる経営規模の拡大・所得向上を期待することができ、雇用の確保につながるかと考え、関係

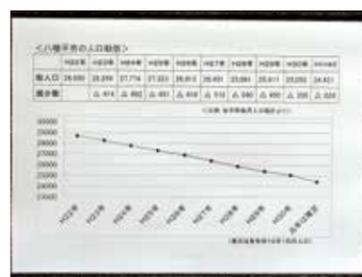
機関と連携し推進していく。
農業の啓発活動
問 教育の一環として農業体験を通じ、将来の職業選択肢として取り組んでいく考えはないか伺う。

入れることを推奨していく。
桜松神社の案内板
問 老朽化により判読することができないため、早急に修復する考えはないか。
市長 成人式の記念事業で設置されたもので、代表の方を交え整理対応していく。



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

子育て支援をもっと強化 高卒までの無料化を検討



八幡平市の人口動態

問 人口減少対策のために「創生総合戦略」を4年前に策定した。平成30年の人口実績は、計画より383人多く減少した。要因は。

企画財政課長 出生数より死亡数が多い状況で、年々拡大しているのが大きな要因だ。一方、転出・転入の

社会増減については改善が見られる。

問 他市町村も予想外の人口減少だが、人口減少率で見ると、当市は県内で10番目に高い減少率になっていて、県内14市の中ではトップの減少率である。子育て支援をもっと強化すべきで

はないか。子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡大することや、保育所の待機児童対策をさらに強化するなど問われている。
副市長 子どもの医療費無料化の拡大については、今年度策定する第2期創生総合戦略の検討課題にしたい。

地域福祉課長 県が保育士確保の支援策を始めるが、この補助を含めて効果的な支援策を検討していく。
総合支所の活用
問 西根総合支所は、新庁舎移転後の大規模改修に約1億6千万円掛かっている。

今後、西根総合支所が大駅前の施設に移転する構想もある。この施設の費用対効果を示せ。
副市長 JA新いわてが2022年に支所の統廃合を行う予定で、その際、西根総合支所をJA支所に活用するか返事を待っている。



まいたさだお
米田定男 議員
(日本共産党)

空き家対策の着実な前進 認定は1件に限定しない



空き家対策パンフレット

問 空き家対策の具体的措置を行うことが可能になるのは、「特定空き家等」に認定することが前提条件である。しかも、実態調査では136件もの「特定空き家等」候補の存在が確認されている。にもかかわらず、今年度の認定予定は1件で

ある。なぜ1件と限定するのか、その根拠を伺う。
市長 今年度は、特定空き家等に対する措置を順次進めていく予定である。現在特定空き家等候補は125件である。
問 特定空き家等の認定を1件に限定するのはなぜか、

と質問しているのに答弁がない。具体的措置の前提は、認定である。1年間に1件のペースだと130年かかることになり、対策を誠実に実行する意志がないことを示していることになる。
防災安全課長 特定空き家については詳細な調査が必

要であり、本年度は解体の代執行1件としたものである。
問 納得しがたい。認定することで、解体までいかなくても警告・命令などの強制的措置も可能になる。認定が遅れると、一般的な空き家も特定空き家等に劣

化する可能性が高い。今年度さらに調査を進めて、順次認定を行うことが必要である。
副市長 認定しなければ、具体的措置ができないのはそのとおりである。認定は1件に限定しない。



くまざわ ひろし
熊澤 博 議員
(自由クラブ)

平館地区のにぎわい創出

北支所の敷地利用を期待



J A新いわて西根北支所

問 商店街のにぎわい創出のためには、バイパスの交通量を効率よく取り込むことが重要である。高校までの通学路の整備や、図書館・文化会館の建設を平館駅周辺に集積させることで、商人手づくりの「お祭り」でにぎわった街を復活させ

たい。以下について伺う。旧平館村役場跡の交差点を地権者の同意を得て、本来あるべき十字路に大規模改修する考えはないか伺う。
市長 変則的な交差点の対策として、新山線入口で道路改修の設計業務を行う予定である。その後、整備・

改修の可否を検討したい。
問 廃止が予定されている農協西根北支所の跡地を共同で、にぎわい創出の核とする考えはないか伺う。
市長 「里の駅」の提言もあるが、農協の計画の情報地域住民と共有し、敷地利用がにぎわい創出につな

がればと期待している。
問 市全域の均衡ある発展を目指す上からも、平館駅周辺に図書館・文化会館を建設する考えはないか伺う。
市長 文化的な施設は必要で、今後努力していきたい。
葉たばこ生産振興

問 廃作が目立つ生産の支援を強化すべきである。立ち枯れ病対策の事業費補助は10分の1である。他市町村との比較ではどうか伺う。
市長 近隣で2分の1の額を支援している町もある。市の生産を維持できるように支援を強化していきたい。



きたぐち いさお
北口 功 議員
(無会派)

文化会館建設の取り組み

多角的な視点の基に検証



市芸能発表会のステージショー

問 市民からの要望が多い文化会館建設があるが、現在の方針と計画を伺う。
市長 第2次総合計画前期基本計画において、検討を進めていきたい。

ではないか。
総務課長 全国的な事例も参考にしながら、検討を進めていきたい。
問 市内でさまざまに開催される芸能発表会・学習発表会などの、ステージ照明が暗いと感じている。移動設置ができる照明器具を導入

し、多様な活動に使用できるようにならないか伺う。
総務課長 公共施設個別管理計画による既存施設の改修更新の参考にし、検討していきたい。
フレイル予防の推進について

問 最近、聞かれるようになったフレイル（健常から要介護へ移行する中間の段階）予防があると注目されている。介護リスクを減らし、健康寿命を延ばしていくために積極的に取り組むべきではないか。
市長 フレイルは、適切に

予防すれば要介護状態に進まずに済む可能性もあり、予防は大変有効であると認識している。栄養教室やシニアカフェなどの開催、またシルバーリハビリ体操などの活動を通し、「栄養・運動・社会参加」の取り組みを進め予防していきたい。

議会の動き

(5月15日～7月26日)

5月

- ▶15日 市政調査会総会、議会運営委員会
- ▶28日 産業建設常任委員会協議会
- ▶30日 教育民生常任委員会協議会
- ▶31日 総務常任委員会協議会

6月

- ▶5日 議員全員協議会、委員長会議、議会改革推進会議タブレット端末導入調査研究部会（仮称）
- ▶7日 議会運営委員会
- ▶17日 令和元年第2回定例会（～26日）、議会広聴広報常任委員会
- ▶18日 議会改革推進会議
- ▶19日 教育民生常任委員会
- ▶20日 産業建設常任委員会
- ▶24日 総務常任委員会
- ▶26日 議会運営委員会
- ▶27日 第66回岩手地区議会議員大会

7月

- ▶1日 令和元年盛岡北部行政事務組合議会勉強会
- ▶5日 議会広聴広報常任委員会
- ▶8日 松西会・自由クラブ・工藤直道・会派議員研修（～10日）
- ▶19日 議会広聴広報常任委員会
- ▶26日 令和元年7月盛岡地区広域消防組合議会臨時会、議会運営委員会、会派代表者会議、議会広聴広報常任委員会



第66回岩手地区議会議員大会
(6月27日ビッグルーフ滝沢)